

○上映債権 200 口に到達！

21. 4. 20



information 15

映画千代子運動

共同発行*「映画製作を支援する会」事務局

治安維持法同盟映画千代子チーム

担当・藤田= ☎090-4527-1129 fax04-7174-2028 mail:fujitahiro@outlook.com

◎長野県実行委発足、1千万円基金決定

77 市町村・2万人鑑賞者めざす

伊藤千代子の出身県の長野県では3月28日、長野市で「実行委員会結成のつどい」を開き、共産党県委、県労連、高教組、民医連、救援会、民青同盟、新婦人はじめ県内民主諸団体・人士、同盟各支部など30団体・個人が参集。県内77全市町村すべてで上映を行い、2万人鑑賞者の組織化、そのための製作・上映運動基金1000万円を創り出すために職域、地域で全力をあげることを申し合わせました。代表には木島日出夫(元衆院議員・弁護士)が就任、旺盛な運動を開始しました。

◎嵐圭史さん(元劇団前進座)応援激励へ

映画化運動に共鳴し、出演と製作運動への協力を申し出られた嵐圭史氏は、この日、長野県実行委員の「つどい」に参加。

翌29日には、諏訪入りし千代子墓参を行い、「歓迎懇談会」に参加。30人の参加者を前に役者人生70年のキャリアを生かして縦横無尽に語り、激励に応じて諏訪全域で200万円基金を集めようと申し合わせました。

●県実行委推進体制

実行委員長 木島日出夫元衆院議員・弁護士

副実行委員長 石坂千蒲 元県会議員

副委員長 遠山茂治同盟会長・細尾俊彦県労連議長・松島博救援会会長・藤森守伊藤千代子こころざしの会会長・民青同盟から

●199・200 口目は共に治安維持法犠牲者

その199番目は「谷川巖・糸さん顕彰会」。ついで200番目の到達は、さる1月12日106歳で死去した故杉浦正男氏のご遺志によるものでした。

谷川巖氏・戦前の反帝同盟の活動家。電気椅子拷問にかけられたが屈しなかった。1933年2月20日、小林多喜二との連絡に赴いたが、果たせなかった。

戦後、私鉄総連書記局から労働者教育協会講師活動に献身した。

杉浦正男氏・出版エクラブの活動で検挙、横浜刑務所に3年間拘留、同所で敗戦を迎えた。産別会議最後の事務局長。その遺産を平和と労働会館から公益財団法人・全労連会館へと発展させた。

上映単位 200 口へ！

4月15日現在

	口数		口数		口数
北海道	27	石川県	1	鳥取県	1
秋田県	1	福井県	1	島根県	1
山形県	1	静岡県	2	岡山県	6
福島県	1	愛知県	17	広島県	1
群馬県	1	岐阜県	12	高知県	1
埼玉県	4	滋賀県	1	香川県	4
千葉県	15	京都府	4	徳島県	1
東京都・中央	19	大阪府	14	長崎県	4
	20	和歌山県	1	熊本県	2
神奈川県	5	兵庫県	5	宮崎県	2
山梨県	4			鹿児島県	1
長野県	18	上映債権合計		201	
新潟県	3				

嵐圭史氏 オルグ活動開始



嵐圭史氏

映画千代子の生涯への出演協力を決断された嵐氏は、映画製作運動にも協力を惜しまないと、長野県内オルグに続き、積年培われてきた人脈を活かして、4月中旬には東北(秋田・岩手・福島)各県に入りました。

また、6月には再び長野県内上小・佐久方面に、さらには北海道や各地へも足を延ばすべく準備を進めています。

その嵐氏が「今を生きる、若きあなたへ」贈る言葉を寄せられています。「情報」14▶